



月間 金融マーケット展望

2022年2月24日

アセンダント 山中康司

はじめにお読みください

＜当社主催のセミナーについて＞

- 本セミナーにて紹介する内容は、外国為替や株価指数取引に関する情報ですが、通貨や指数の種類に関わらずその売買を推奨するものではありません。
- 本セミナーにて紹介する内容は、特定の投資目的、金融情勢、あるいは特定の方のニーズを考慮ものではありません。
- 本セミナーにて紹介する情報は、信頼できる情報源から入手されたものですが、その正確性、完全性を保証するものではなく、当該情報または意見を信頼したことにより起因して発生するいかなる直接的、間接的または結果的損失についても、弊社はいかなる責任も負いません。投資に関する判断の最終決定は、ご自身で判断されますようお願いいたします。
- 当セミナーにおいて、弊社の外国為替証拠金取引、CFD取引及びオプション取引への勧誘を行う場合もございます。
- アセンドANTおよびフォレックス・ドットコムは、本日のセミナーで示す手法の利用により生ずるいかなる損害の責任を負うものではありません。

ラジオ日経・FOREXチャンネル

FOREXチャンネル

番組紹介

ラジオNIKKEI第1 毎週火曜日 16:00～16:30

提供：FOREX.com

トレーダー目線を大切に！投資巧者の出演者がトレード手法を指南。マニアックに深掘りするテクニカル分析などトレードアイディア豊富にお送りします。

ノックアウトオプションなど、シンプルで新たな金融商品も紹介。

本日の内容

- ◆ FOREX.comからのお知らせ
 - ◆ キャンペーンのお知らせ
 - ◆ 株価指数CFD、ロックアウトオプション
- ◆ 月間金融マーケット展望
 - ◆ 前回以降の金融市場振り返り
 - ◆ ファンダメンタルとテクニカルな観点
 - ◆ 来月のセミナー予定

株価指数CFD/KO取引

¥

キャッシュバックキャンペーン

- ◆ キャッシュバックキャンペーン
 - ◆ 2月1日～3月31日
 - ◆ 株価指数口座開設＋初回取引
 - ◆ 取引量に応じて最大10万円キャッシュバック
- ◆ キャンペーン詳細は以下のページから
<https://www.forex.com/jp/campaign/index-welcome-feb22/>

株価指数CFD

- ◆ CFD=Contract For Difference(差金決済)
- ◆ CFDの種類
- ◆ 為替CFD=いわゆるFX
- ◆ 証券CFD
 - ◆ 株価指数CFD(日経平均、NYダウなど)→今回のリリース
 - ◆ 個別株CFD(日本株、米国株など)
- ◆ 商品CFD

株価指数CFDのメリット

- ◆ 株価指数に連動し、売りから入れる
- ◆ レバレッジが効くので資金効率が高い
- ◆ ほぼ一日中取引が可能
 - ◆ 日経CFDの取引時間＝東京08:00～翌07:00
- ◆ 手数料無料

CFDはTadingViewでもトレード可能



株価指数ノックアウトオプション

- ◆ 株価指数でもノックアウトオプション取引
- ◆ 取引概要はFXのノックアウトオプションと同様
 - ◆ ノックアウトUP、ノックアウトDOWN
 - ◆ オプション料＝最大損失額で更に高い資金効率

※詳細はホームページで確認

金融マーケット展望



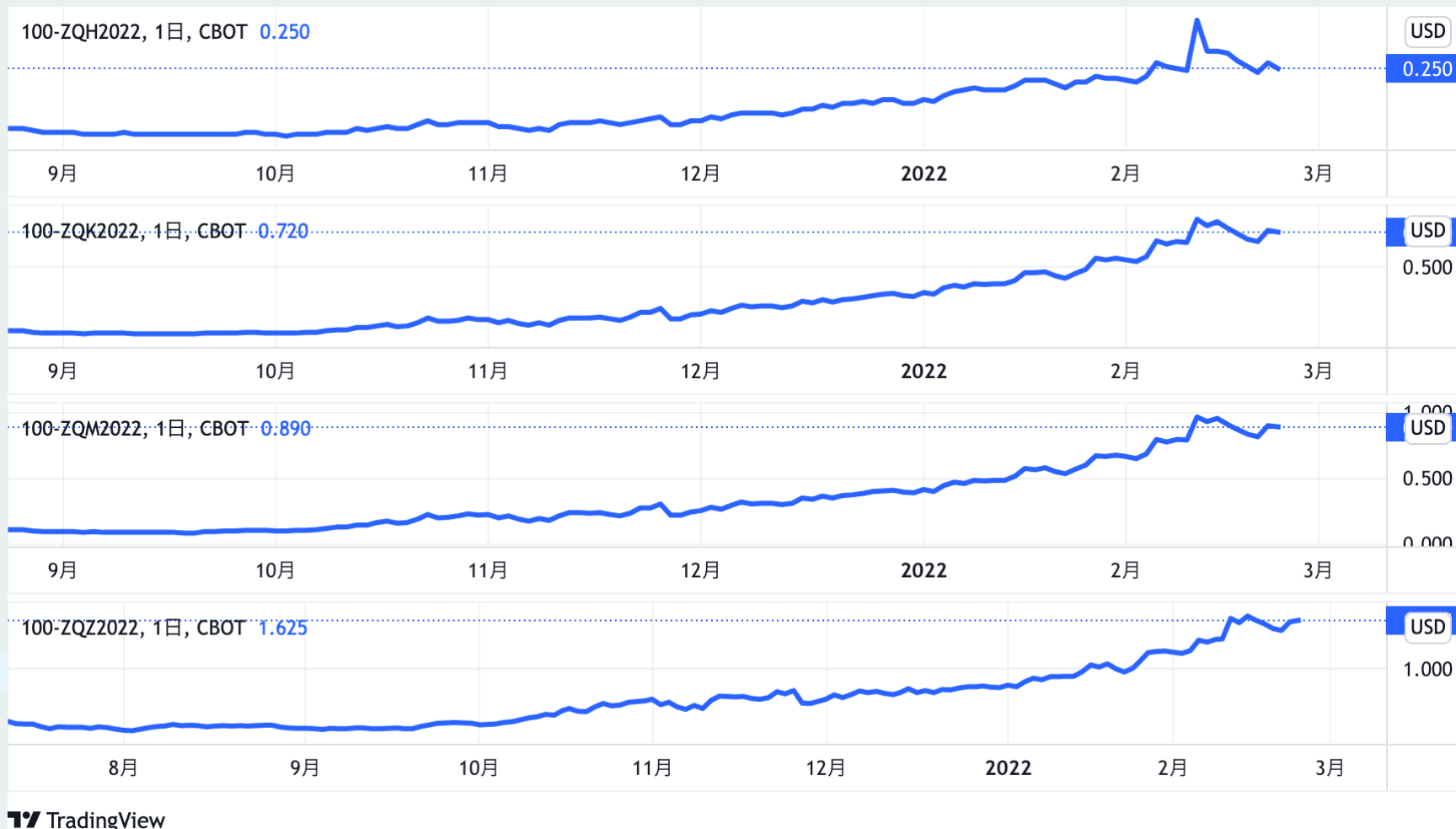
最近の金融市場全体の概要

- ◆ 各市場とも難しい局面に
 - ◆ 金利市場＝主要国の引き締め前倒し思惑
 - ◆ 債券市場＝10年債利回りは2.0%台乗せ
 - ◆ 株式市場＝調整(下降)局面続く
 - ◆ 商品市場＝NY原油は100ドルを視野に
 - ◆ 為替市場＝米金利と地政学リスクを両にらみ
 - ◆ 暗号資産＝下降トレンド継続
- ◆ ウクライナ問題が最大の懸念材料

FRBの金融政策

- ◆ 次回FOMC(3月16日)
 - ◆ テーパリング終了、利上げ開始
 - ◆ 0.25%か0.5%を判断(21日、ボウマン理事)
 - ◆ 数か月中にも追加利上げ(同)
- ◆ FF先物から見る利上げ織り込み度
 - ◆ 3月16日 0.25%=71%、0.5%=29%
 - ◆ 5月4日 0.5%=49%、0.75%~1.0%=51%
 - ◆ 6月15日 0.75%=38%、1.0~1.5%=62%
- ◆ 一時期よりも3月の0.5%利上げ見通しは減っているものの、6月までに4回の利上げが行われることがコンセンサス

FF先物の3,5,6,12月限推移



主要国の長期金利

◆ 米国債券利回り

◆ 2年債	1.610%	
◆ 5年債	1.898%	
◆ 10年債	1.970%	一時2.063%まで上昇

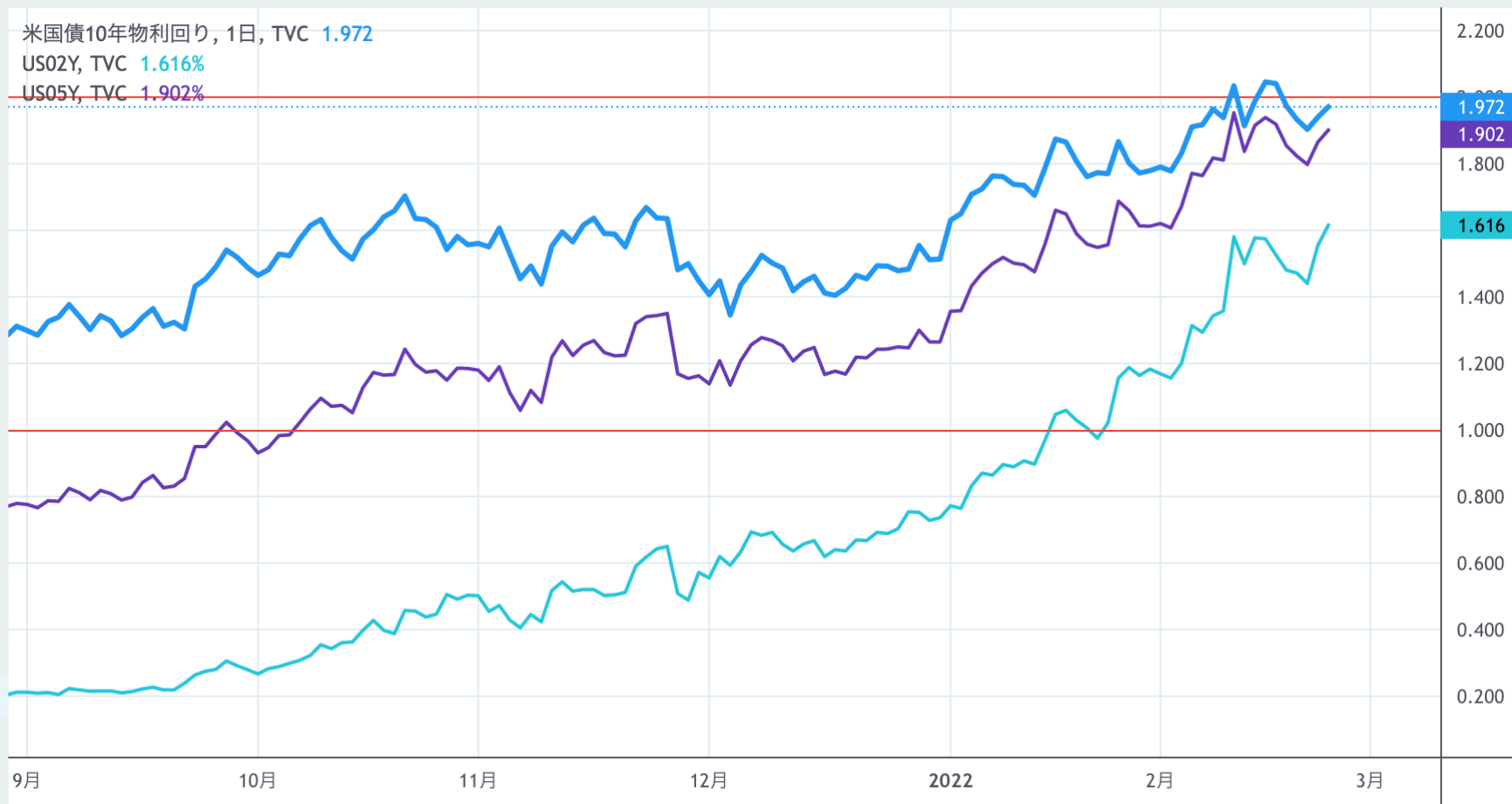
◆ ドイツ債券利回り

◆ 10年債	0.254%	一時0.331%まで上昇
--------	--------	--------------

◆ 日本債券利回り

◆ 10年債	0.195%	一時0.251%まで上昇
--------	--------	--------------

米国債利回り2,5,10年



TradingView

ドイツ国債、日本国債利回り10年



米国CPI推移(前年比)

◆ 4月分	+4.2%	急上昇したのはここから
◆ 5月分	+5.0%	
◆ 6月分	+5.4%	
◆ 7月分	+5.4%	
◆ 8月分	+5.3%	
◆ 9月分	+5.4%	
◆ 10月分	+6.2%	
◆ 11月分	+6.8%	
◆ 12月分	+7.0%	年率7%台は1982年6月以来
◆ 1月分	+7.5%	

雇用統計推移

◆ 対象月	NFP	失業率	
◆ 5月分	+559K	+5.8%	下方修正+447K
◆ 6月分	+850K	+5.9%	下方修正+557K
◆ 7月分	+943K	+5.4%	下方修正+689K
◆ 8月分	+235K	+5.2%	上方修正+517K
◆ 9月分	+194K	+4.8%	上方修正+424K
◆ 10月分	+531K	+4.6%	上方修正+677K
◆ 11月分	+210K	+4.2%	上方修正+647K
◆ 12月分	+199K	+3.9%	上方修正+510K
◆ 1月分	+467K	+4.0%	* 季節調整修正

ウクライナ問題の経過

- ◆ 2004年12月「オレンジ革命」
 - ◆ 親ロシア与党と親欧米野党による大統領選で当初当選した与党候補がやり直し選挙で敗北し野党候補が大統領に（米国介入か）
- ◆ 2014年3月「クリミア併合」
 - ◆ 親ロシアが多いクリミア自治共和国をロシアが併合する条約に調印
- ◆ 2014年9月「ミンスク合意」
 - ◆ ロシア、ウクライナ、ドイツ、フランス首脳でウクライナ東部の停戦、和平プロセス、親ロシア2州に自治権を骨子とした合意
 - ◆ 新ロシア2地区＝ドネツク州、ルガンスク州

ロシアによる実質的ウクライナ侵攻

- ◆ ウクライナの欧州接近
 - ◆ NATOの東方拡大(旧東欧)をロシアは警戒
 - ◆ ウクライナ国民の過半数は欧州寄り
- ◆ ロシアと西側諸国との協議
 - ◆ 今週の米ロ首脳会談予定をロシア側は暗に否定
 - ◆ ロシアがドネツクとルガンスクを独立国家として承認、平和維持目的でロシア軍を派兵
- ◆ 西側諸国の対応
 - ◆ 経済制裁は現時点では想定内
 - ◆ 厳しい金融制裁には発展しないか

ウクライナ問題と金融市場

- ◆ 株式市場はリスクオフで売られる
- ◆ 金利市場は利上げ思惑がやや後退、
債券は株式市場からの資金シフトで価格上昇(利回り低下)
- ◆ 為替市場は地政学リスクでユーロ売り、
株式市場の下げによる円買い
- ◆ 商品市場はロシアからの輸出減でエネルギー価格上昇、
避難資産として金価格の上昇
- ◆ リスク資産(暗号資産など)は全般に売られる

US SP 500週足



米国10年債利回り週足



ドル円週足



ユーロドル週足



原油週足



セミナーサポート掲示板

◆ <http://seminar-support.bbs.fc2.com>

セミナーサポート掲示板
Total:387

一覧(新規投稿) | Home | ワード検索 | 使い方 | 携帯へURLを送る | 管理

お名前	
件名	
メッセージ	絵文字 絵文字 絵文字 絵文字 動画
画像	参照...
メールアドレス	
ホームページ	
アイコン	アイコンなし ▼
文字色	
編集/削除パスワード	
プレビューする	☐ (投稿前に、内容をプレビューして確認できます)

過去のセミナー検索(2015年～)

◆ <https://www.forex.com/jp/forex-lab/seminars/metatrader/>

過去のセミナー

過去に行われたFOREX.comセミナーです。テーマをクリックするとセミナーの動画や資料を閲覧することができます。

当社の取扱商品についてもっと知りたい方はもちろん、当日見逃してしまった方や復習をしたい方もぜひご活用ください。

2019 2018 2017 2016 2015

日付	テーマ	動画を見る	PDF資料をダウンロード
2019-11-28 (木)	山中康司のMT4セミナー「最も大事なエントリー&エグジットのタイミング」		
2019-10-24 (木)	山中康司のMT4セミナー「新興国通貨の妙味とリスク」		
2019-9-26 (木)	山中康司のMT4セミナー「年末に向けた取引戦略とは」		

次回セミナーのお知らせ

- ◆ 3月24日(木)20時～
「月間 金融マーケット展望」
- ◆ 取り扱うテーマ(予定)
 - ◆ 振り返りと主要市場の値動き
- ◆ 質問もお待ちしております